

[科目名] 応用マイクロ経済学	[単位数] 4単位	[科目区分] 基幹科目
[担当者] 河野秀孝	[オフィス・アワー] 時間： 月曜から金曜（毎日午後3時から5時まで、 その他の時間帯はメールでアポを取る）。 場所： 508 研究室	[授業の方法] 講義
[科目の概要] 本講義では、皆さんがマイクロ経済学で、既に履修済みの基本的モデルの応用側面に焦点をあてます。我々にとって有用であるものはすべて「希少」です。これは天然資源に限られたことではありません。「希少性」は自ずと「(取捨) 選択」(即ち、「意思決定」)を不可避とします。また、「選択」や「意思決定」はその選択をする個人や組織の「目的」、「選択基準」、や「価値観」、や「価値体系」の明確化を必然的なものとします。応用マイクロ経済学では、このように「希少性」(即ち、制約条件)のもとでの「選択」問題を、論理的に、しかも、さまざまな問題に応用できるように、統一的に履修します。マイクロ経済学の分析概念、思考の枠組み、分析手法、予測の組み立て方、即ち、「科学する視点と方法」とその有用性を、さまざまな諸問題解決への応用を通じて学びます。また、近年の目覚ましい理論及び実証モデルの発展にも言及し、経済学の観点から、統一的・論理的分析ができるようになる事を目指します。		
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] 応用マイクロ経済学は、皆さんがこれまで履修した経済理論、特にマイクロ経済学の応用で、毎日の経済現象を題材とした体系的論理的思考の訓練です。また、代表的モデルを思考の枠組みとして学習しながら、論理的思考を受身的に学ぶのではなく、少数の基本的概念から、少し進んだ分析的物語(モデル構築)を学生の皆さん各自が自力で作成できるようになることを念頭に、授業を進めるつもりです。簡単な論理的枠組みといえども、目的に応じた分析的物語作成の際、強力な力を発揮することを味わって頂きたい。さらに、一見すれば、正しいまともな議論と思われるものでも、必ずしも説得力が充分であるとは限らないことにも気づいてください。昨今、「説明責任の重要性」がますます認識される中、論理的思考力を高めることは、官民間問わず、ますます重要になって来ると考えます。講義を通じて、まずは、論理的思考の楽しさを味わってください。		
[科目の到達目標(最終目標・中間目標)] 私たちが住んでいる今日の世界では、経済に関する諸問題は、日々マスコミのニュースにもなっています。この事は、私たちの日常生活までも、経済的側面から多大なる影響を受けていることを示しているのです。本講義は、日々の私たちの生活への影響を、身近な事例として考えながら、皆さんを取り巻く経済の諸問題を統一的に理解・分析できるようになることを目的とします。		
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] 授業をこれまで以上に分かりやすくするために、以下の改善・工夫をします。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的例を出来るだけ多くする。 2. 重要なところは反復をする。 3. 定期的に講義の要点をもとに、宿題を課す。各自の理解度を認識してもらう。 		
[教科書] ハル・R・ヴァリアン著 佐藤隆三監訳『入門マイクロ経済 [原著第9版]』勁草書房、2015年。 ISBN 978-4-326-95132-1		
[指定図書] なし		
[参考書] ポール・ミルグロムとジョン・ロバーツ(訳 奥野正寛 他)「組織の経済学」NTT出版、1997年。		
[前提科目] 経済学基礎論、経営経済数学、マイクロ経済学、マクロ経済学。		

〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等）

1回の定期試験（期末）により、成績を評価する。また、学期中に20回くらい出席状況を調べる。

〔評価の基準及びスケール〕

評価の基準として、80%以上がA、70%以上がB、60%以上がC、50%以上がD、50%未満をFとする。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

まずは、皆さんに論理的思考の楽しさを味わって頂きたい。出来るだけ身近な事例を挙げ、分かりやすく、また、興味を引くように授業の進め方を工夫するつもりです。

皆さんへの要望として、経済の諸問題に関心を持ち、少なくとも日本経済新聞の「経済教室」と「やさしい経済学」欄は、毎日読むようにし、授業には積極的に参加してください。

〔実務経歴〕

製造業での実務経験を活かし、私たちの生活の身近な事例を考えながら、経済の諸問題を統一的に理解・分析できるようにすることを目的とします。

授業スケジュール

第1回	テーマ：9章 売買 教科書・指定図書
	テーマ：10章 異時点間の選択 教科書・指定図書
から	テーマ：復習
	テーマ：11章 資産市場 教科書・指定図書
第10回	テーマ：12章 不確実性 教科書・指定図書
	テーマ：復習
	テーマ：13章 危険資産 教科書・指定図書
	テーマ：17章 オークション
第11回	テーマ：復習
	テーマ：26章 独占行動 教科書・指定図書
から	テーマ：27章 要素市場 教科書・指定図書
	テーマ：復習
第20回	テーマ：28章 寡占 教科書・指定図書
	テーマ：32章 交換 教科書・指定図書
	テーマ：33章 生産 教科書・指定図書
	テーマ：
第21回	テーマ：34章 厚生 教科書・指定図書
	テーマ：復習
から	テーマ：35章 外部性 教科書・指定図書
	テーマ：36章 情報技術 教科書・指定図書
第30回	テーマ：復習
	テーマ：38章 非対称情報 教科書・指定図書
	テーマ：続き
	テーマ：試験前復習
定期試験	期末試験